

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見や思いを療育に反映できること。	職員会議等で共有・話し合いを行い改善に繋げている。療育前に各児の情報共有を行い、その日の療育に反映している。 アセスメントシートを記入してもらい、各児の記録ファイルに挟むことで、いつでも確認が取れるように工夫している。	支援システム(ソフト)なども活用し、日ごろの記録や家族との連絡、評価、個別支援計画、請求などを関連付けて全体を把握し、職員全員で連携しながら支援する。
2	活動プログラムが固定しないよう毎月、多様なプログラムを設定していること。 専門職員の特性を生かした療育の提供。	毎月、活動プログラムを主たるスタッフが交代し合い、その都度ミーティングやフィードバックを行いながら工夫をしている。 専門職員による個別支援クラスの開設や、集団クラスにも専門職員によるサポートや支援を織り込み、発達段階に対応した相談や意見交換、保護者へのフィードバックを行っている。	利用児や保護者からの要望や、職員の得意分野など、職員会議やミーティングに課題を取り入れて話し合い、さらに向上を目指す。
3	事業所内だけでなく、法人全体で話し合える環境があること。 施設内のSTにスーパーバイズを受けていること。	職員の資質の向上を図るため、事業所内での問題点や困りごとを法人全体で意見交換を行っている。また、その時間に外部講師を招いて研修を行っている。職員の研修や利用者の家族に対する研修に参加。 利用者の家族に対してはペアレントトレーニングと称し、年に4回コンスタントに研修を行っている。職員も参加し、保護者と情報交換を行える機会となっている。	施設内でスーパーバイズできる職員が、職員の研修や利用者の家族に対する研修に参加し、相談など受けられるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信を出して子どもたちの様子を知らせているが、ホームページの更新がしばらく出来ていなかった。	利用児のご家族には日頃の活動について、定期的に通信や、毎日の様子は連絡帳にてお知らせしているので、ホームページの更新が疎かになった。	通信の発行方法の見直しと、ホームページの更新日を決めるなどの改善。 利用児の保護者の方だけでなくいろんな方に事業所の紹介をしていきたい。
2	兄弟児をメインとした支援、交流の実施に至っていない。	保護者参加の行事に兄弟児も参加してもらっているが、利用児がメインの活動となっており、兄弟児にはフォーカスできていない状況。	人数に合わせ、別会場を利用する必要がある。施設近くの自治会館の利用も含め検討していく。 保護者参加行事で、利用児だけでなく兄弟児も一緒に参加できる活動を取り入れていく。
3	こども園や保育園との情報交換は出来ているが、行事の交流はできていない。	こども園、保育園での懇談において、先生方との意見交換は出来ているが、園児さんとの交流は出来ていない。	園との懇談の際に、交流についての提案を行ってみる。利用している子どもたちが、地域との交流に参加できるか調べて、地域の中で成長していけるよう支援する。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆらんこ

公表日 2025年 2月 5日

利用児童数 29

回収数

26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	2	外の設備もとても配慮されていて良いと思った。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	0	色々なイベント等嬉しく思う。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11	4	2	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	0	0	0	いつも参加させていただいています。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	0	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	1	0	具体的にどんな取り組みをしたか知りたい。 LINEやHP、お便りなど写真つきで、どんな様子でどんな活動をしているかの情報が欲しい	通信の継続、玄関ホワイトボードに活動内容の掲示する。お子様の様子を見ていただけるよう、親子時間入室できることを再度周知していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	1	8	頻度は多くないのですが、交流の機会や下の子を受け入れて下さり助かっています。兄弟同士のイベントがあれば嬉しいです。	保護者参加行事などで兄弟児も一緒に活動に参加できるよう準備、工夫していく。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	4	通信をたくさん写真入りの紙でいただけてとても嬉しかった。文章だけではなかなかどう活動をしたのか伝わりにくい時もあるので、たくさん写真入りで活動内容が見れて良かった。紙でいただけたのも保管がし易く助かった。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	2	0	0	公園へのお散歩や夏のプールなど、他の事業所ではなかなか出来ないことを実現して頂き、子どもとても楽しみにしながら通っています。プールの期間が伸びればより嬉しいです。	今後も継続していくとともに、来年度のプール期間を検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	0	いつも本当にありがとうございます！とても満足しています。これからもよろしくお願いします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆらんこ		公表日		2026年 2月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	子どもの様子や活動によって部屋を分けるなどの工夫をしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	写真や文字プレートを使って、その日のスケジュールや遊びを選択できるようにしている。足台ステップの使用。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	季節に合わせた壁面飾り。活動に合わせて机の出し入れを行っている。毎活動後の清掃とフィルターなどの定期的な掃除。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて2号室を使用。 (個別やクールダウンなど)	現在使用しているパーテーション+新たに別タイプのものを導入し、室内空間を有効活用していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	打合せ時に実施	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員会議等で共有、話し合いを行い改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	打合せ、職員会議十等で実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	ペアレントトレーニング(保護者参加)や法人全体研修の実施	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	複数回検討を行う事もある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	各自の記録ファイルに挟みいつでも確認できるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	アセスメントシートを記入してもらっている。記録ファイルにはさみいつでも確認できるよう工夫している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		ICTを導入していけば更に幅が広がると思う。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	職員によって勤務時間が異なるので、その日のうちに必ずできないが話ができる時間に情報共有している。	必ずといったところは△。今後工夫して共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	高砂市子ども部会に参加。送迎時に保育施設との情報共有。現在、医療との連携まで必要な子どもはいない。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	互いに個別支援計画書を共有している施設もある。 ケース会、支援計画書の共有	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者を通して情報共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/	/		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	施設内のSTにスーパーバイズをしてもらっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	秋祭りへの参加 地域の公園での活動	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	懇談、ケース会、親子時間等を用いている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	送迎時やペアレントトレーニング後に情報交換されている姿が見られる。	保護者参加の行事で兄弟も一緒に参加できる機会を設けているが、今後兄弟同士がメインで交流できる機会を作っていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	写真を使った意思表示が難しい場合は実物を見せたり、なるべくタイムリーに表現できる機会を作っている。	←まだ十分ではないため、今後バリエーションを増やしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		今年度はできていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月1回以上のペースで実施中	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	月1回以上のペースで実施中	訓練だけではなく、設備の見直しも必要
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	支援計画にて記載→署名前に説明している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆらんこ			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見や思いを療育に反映できること。	職員会議等で共有・話し合いを行い改善に繋げている。 療育前に各児の情報共有を行い、その日の療育に反映している。 アセスメントシートを記入してもらい、各児の記録ファイルに挟むことで、いつでも確認が取れるように工夫している。	支援システム(ソフト)なども活用し、日ごろの記録や家族との連絡、評価、個別支援計画、請求などを関連付けて全体を把握し、職員全員で連携しながら支援する。
2	活動プログラムが固定しないよう毎月、多様なプログラムを設定していること。 専門職員の特性を生かした療育の提供。	毎月、活動プログラムを主たるスタッフが交代し合い、その都度ミーティングやフィードバックを行いながら工夫をしている。 専門職員による個別支援クラスの開設や、集団クラスにも専門職員によるサポートや支援を織り込み、発達段階に対応した相談や意見交換、保護者へのフィードバックを行っている。	利用児や保護者からの要望や、職員の得意分野など、職員会議やミーティングに課題を取り入れて話し合い、さらに向上を目指す。
3	事業所内だけでなく、法人全体で話し合える環境があること。 施設内のSTにスーパーバイズを受けていること。	職員の資質の向上を図るため、事業所内での問題点や困りごとを法人全体で意見交換を行っている。また、その時間に外部講師を招いて研修を行っている。職員の研修や利用者の家族に対する研修に参加。 利用者の家族に対してはペアレントトレーニングと称し、年に4回コンスタントに研修を行っている。職員も参加し、保護者と情報交換を行える機会となっている。	施設内でスーパーバイズできる職員が、職員の研修や利用者の家族に対する研修に参加し、相談など受けられるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信を出して子どもたちの様子を知らせているが、ホームページの更新がしばらく出来ていなかった。	利用児のご家族には日頃の活動について、定期的に通信や、毎日の様子は連絡帳にてお知らせしているので、ホームページの更新が疎かになった。	通信の発行方法の見直しと、ホームページの更新日を決めるなどの改善。 利用児の保護者の方だけでなくいろんな方に事業所の紹介をしていきたい。
2	兄弟児をメインとした支援、交流の実施に至っていない。	保護者参加の行事に兄弟児も参加してもらっているが、利用児がメインの活動となっており、兄弟児にはフォーカスできていない状況。	人数に合わせ、別会場を利用する必要がある。施設近くの自治会館の利用も含め検討していく。 保護者参加行事で、利用児だけでなく兄弟児も一緒に参加できる活動を取り入れていく。
3	小学校との情報交換は出来ているが、行事の交流はできていない。	小学校での懇談において、先生方との意見交換は出来ているが、小学生との交流は出来ていない。	小学校との懇談の際に、交流についての提案を行ってみる。 利用している子どもたちが、地域との交流に参加できるか調べて、地域の中で成長していけるよう支援する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ゆらんこ				公表日	2025年 2月 5日	
						利用児童数	20	回収数 18
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	0	0	0			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	4	2	8			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	0	0			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		日々のお迎えにての伝達だけでは難しい時があるので、連絡帳で様子を教えてもらっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	18	0	0	0			
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	1	4				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆらんこ				公表日	2025年 2月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	子どもの様子や活動によって部屋を分けるなどの工夫をしている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	写真や文字プレートを使って、その日のスケジュールや遊びを選択できるようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	季節に合わせた壁面飾り。活動に合わせて机の出し入れを行っている。 毎活動後の清掃とフィルターなどの定期的な掃除。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて2号室を使用。 (個別やクールダウンなど)	現在使用しているパーテーション+新たに別タイプのを導入し、室内空間を有効活用していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	打合せ時に実施。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員会議等で共有、話し合いを行い改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	打合せ、職員会議十等で実施。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	ペアレントトレーニング(保護者参加)や法人全体研修の実施			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	複数回検討を行う事もある。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	各自の記録ファイルに挟みいつでも確認できるようにしている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	アセスメントシートを記入してもらっている。記録ファイルにはさみいつでも確認できるよう工夫している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		ICTを導入していけば更に幅が広がると思う。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	職員によって勤務時間が異なるので、その日のうちに必ずはできないが話ができる時間に情報共有している。	必ずといったところは△。今後工夫して共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	自己選択できる活動を取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	互いに個別支援計画書を共有している施設もある。 ケース会、支援計画書の共有	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	保護者を通して情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	施設内のSTにスーパーバイズをしてもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	地元の祭りに参加	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	懇談やケース会にて行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ペアレントトレーニングや、送迎時、お電話等	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		保護者参加の行事で兄弟も一緒に参加できる機会を設けているが、今後兄弟同士がメインで交流できる機会を作っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	写真を使った意思表示が難しい場合は実物を見せたり、なるべくタイムリーに表現できる機会を作っている。	←まだ十分ではないため、今後バリエーションを増やしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	支援計画にて記載→署名前に説明している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月1回以上のペースで実施中	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	月1回以上のペースで実施中	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			